

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### (1) 学生の確保の見通し

##### ① 定員充足の見込み

医学部医学科の一般選抜では、令和3年度からの大学入学共通テストの導入をはじめとした入試改革に加え、新型コロナウイルス感染症による影響で、令和2年度及び令和3年度の志願者数は減少したが、令和4年度においては、首都圏からの受験者数が回復したこともあり、志願倍率が4.1倍から5.3倍となっている。

また、総合型選抜においても志願倍率が1.8倍から2.4倍となっており、過去5年間の志願状況を見ても大きな変動はなく、志願倍率は2倍程度を維持している。

よって、再度の定員増を行っても十分に志願者及び入学者を確保できる見込みである。

##### ② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

区 分		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般選抜 (旧:一般入 試)	募集人員	65	65	70	65	70
	志願者数	534	638	352	264	372
	受験者数	461	457	291	215	306
	合格者数	65	65	70	66	71
	入学者数	65	65	70	65	70
	志願倍率	8.2	9.8	5.0	4.1	5.3
総合型選抜 (旧:A0入 試)	募集人員	47	47	42	47	42
	志願者数	105	103	89	86	102
	受験者数	105	103	89	86	102
	合格者数	47	47	42	47	42
	入学者数	47	47	42	47	42
	志願倍率	2.2	2.2	2.1	1.8	2.4
合計	募集人員	112	112	112	112	112
	志願者数	639	741	441	350	474
	入学者数	112	112	112	112	112
入学定員充足率		100	100	100	100	100
定員超過率		1	1	1	1	1

## (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面実施できなかった「青森県内進路指導担当教諭との懇談会」を3年ぶりに対面形式で実施し、令和5年度入試の説明及び意見交換を行った。

また、3年ぶりに対面実施した「医学部医学科スクーリング」並びに「オープンキャンパス」において入試説明、医学系予備校等が実施するイベントに資料参加するなど、広報活動を行っている。

加えて、弘前市教育委員会が主催する「中学生×医師交流プログラム」(医療職に対する理解を深めてもらうことを目的として、中学生と医師や医学生との交流及び実習体験等を行う。)に共催参加している。

## 2. 人材需要の動向等社会の要請

### (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

本学医学部医学科は、「豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成」を目的としている。これを達成するため、

- ①医学教育を受けるに十分な素養で、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力、
  - ②他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら、高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力、
  - ③生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち、何事にも前向きに取り組み、知的・人格的に成長していこうとする意欲、
- を教授することとしている。

### (2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

厚生労働省の「医師・歯科医師・薬剤師調査」によると、令和2年における本県の人口10万対医師数は212.5人であり、全国平均の256.6人を大きく下回っている。

また、令和2年8月に厚生労働省が公表した都道府県別医師偏在指標では、本県は45位で医師少数区域に区分されるなど、医師不足が極めて深刻な状況となっている。

そのため、地域医療を支え、社会的役割を果たすことができる医師を増やすことが喫緊の課題となっており、本学医学部医学科における教育目的は、こうした要請に応えるものとなっている。